



平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月4日

上場会社名 わらべや日洋株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2918 URL <http://www.warabeya.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 妹川 英俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 森浦 正名 (TEL) 042-345-3131  
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	89,579	11.3	2,943	7.3	3,127	9.8	1,663	50.9
24年2月期第2四半期	80,470	4.0	2,743	8.3	2,848	3.0	1,101	△31.9

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 1,653百万円( 53.5%) 24年2月期第2四半期 1,077百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	100.10	—
24年2月期第2四半期	66.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	66,277	34,842	52.6
24年2月期	62,036	33,521	54.0

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 34,842百万円 24年2月期 33,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	178,000	9.0	4,650	13.6	4,800	15.7	2,300	23.5	138.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期2Q	16,625,660株	24年2月期	16,625,660株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	10,866株	24年2月期	10,766株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期2Q	16,614,868株	24年2月期2Q	16,615,004株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載いたします。

・平成24年10月9日(火)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P. 4
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 7
四半期連結損益計算書 .....	P. 7
四半期連結包括利益計算書 .....	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	P. 10
(5) セグメント情報等 .....	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などを背景として、緩やかな景気回復基調で推移しました。

一方、食品業界では、消費者の節約志向や低価格志向などにより、厳しい市場環境が継続し、また「食」市場全体では、スーパーストア、コンビニエンスストア、外食チェーンなどが、業種・業態の垣根を越えて、激しい競争を繰り広げています。

このような状況下、当社グループは、主要顧客であるセブン-イレブン・ジャパンの積極的な出店や、チルド商品の販売伸長などにより、順調に売上を拡大しました。また、当社は3月に新設した商品本部に、商品開発の機能、権限を集約し、さらなる商品開発力の強化に努めるとともに、消費者の安全・安心へのニーズに応えるため、グループ一丸となって品質・衛生管理の徹底に取り組んでいます。このように、当社グループは、「食」創りのすべてを手がけ、「食」を進化させ続けるフード・イノベーターを目指し、高品質で価値ある商品づくりに邁進しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は895億7千9百万円（前年同期比91億8百万円、11.3%増）、営業利益は29億4千3百万円（前年同期比1億9千9百万円、7.3%増）、経常利益は31億2千7百万円（前年同期比2億7千8百万円、9.8%増）となりました。四半期純利益は、前年同期に計上した特別損失（災害による損失2億3千8百万円および資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額4億3千万円）が解消し、16億6千3百万円（前年同期比5億6千1百万円、50.9%増）となりました。

セグメントごとの事業概況は、以下のとおりです。

## [食品関連事業]

首都圏、関西、東海、北陸地区を中心とした納品店舗数の増加、また、チルド温度帯の商品である「和菓子」や「ロールパン」、「パスタ」などの売上伸長により、売上高は688億6百万円（前年同期比73億8千1百万円、12.0%増）となりました。一方、営業利益は、増収効果はあったものの、米価の上昇などにより23億7千7百万円（前年同期比0百万円、0.0%減）となりました。

## [食材関連事業]

水産加工品や鶏加工品の取扱高が増加したことなどにより、売上高は116億9千9百万円（前年同期比7億7千1百万円、7.1%増）、営業利益は1億7千7百万円（前年同期比5千3百万円、43.7%増）となりました。

## [物流関連事業]

セブン-イレブンの店舗増加に伴い、共同配送事業の取扱高が増加したことや、前期の震災影響が解消し、ネットスーパー関連の宅配事業が増収したことなどにより、売上高は59億7百万円（前年同期比4億8千1百万円、8.9%増）、営業利益は1億4千4百万円（前年同期比9千7百万円、207.9%増）となりました。

## [その他]

人材派遣事業において、前期の震災影響が解消し、自動車業界向けおよび電子・電機業界向け受注が増加したことにより、売上高は31億6千5百万円（前年同期比4億7千3百万円、17.6%増）、営業利益は2億3千6百万円（前年同期比7百万円、3.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて42億4千万円増加し、662億7千7百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べて29億1千9百万円増加し、314億3千5百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金、未払金の増加によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べて13億2千1百万円増加し、348億4千2百万円となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことおよび利益剰余金の配当によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動による資金の増加は43億9千8百万円となりました。税金等調整前四半期純利益27億7千5百万円および減価償却費17億9千9百万円の計上によるものです。

投資活動による資金の減少は8億4千8百万円となりました。有形固定資産の取得による支出5億6千9百万円および関係会社出資金の払込による支出2億5千5百万円によるものです。

財務活動による資金の減少は14億2千5百万円となりました。長期借入金の返済による支出8億5百万円および配当金の支払額3億3千1百万円によるものです。

この結果、「現金及び現金同等物」の当第2四半期末残高は37億4千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成24年4月13日付「平成24年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表した、平成25年2月期通期の連結業績予想を、下記の通り修正します。

平成25年2月期 連結業績予想

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	171,000	4,500	4,600	2,300	138.43
今回修正予想 (B)	178,000	4,650	4,800	2,300	138.43
増減額 (B-A)	7,000	150	200	—	
増減率 (%)	4.1	3.3	4.3	—	
前期実績	163,372	4,092	4,147	1,862	112.12

(修正の理由)

売上高は、セブン-イレブン・ジャパンの積極的出店が継続するため、前回予想から70億円の増額を見込んでいます。

営業利益、経常利益は、上期実績が予想を大きく上回っているものの、下期の米価上昇を懸念し、前回予想からそれぞれ1億5千万円、2億円の増額としております。

当期純利益は、上期に特別損失を計上したため、前回予想通りとしております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,619	3,748
受取手形及び売掛金	14,243	17,568
商品及び製品	3,121	2,216
原材料及び貯蔵品	647	731
その他	2,539	2,297
貸倒引当金	△20	△24
流動資産合計	22,151	26,536
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,891	38,842
減価償却累計額	△22,256	△22,774
建物及び構築物(純額)	16,634	16,067
機械装置及び運搬具	15,228	15,477
減価償却累計額	△10,996	△11,313
機械装置及び運搬具(純額)	4,231	4,163
土地	12,692	12,505
建設仮勘定	205	303
その他	4,065	4,697
減価償却累計額	△1,759	△2,053
その他(純額)	2,306	2,643
有形固定資産合計	36,070	35,684
無形固定資産		
その他	696	598
無形固定資産合計	696	598
投資その他の資産		
その他	3,204	3,545
貸倒引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	3,118	3,458
固定資産合計	39,885	39,741
資産合計	62,036	66,277

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,929	9,781
1年内返済予定の長期借入金	1,648	1,512
未払金	5,840	7,062
未払法人税等	1,477	1,185
賞与引当金	701	803
役員賞与引当金	—	71
その他	1,984	2,408
流動負債合計	19,581	22,826
固定負債		
長期借入金	4,205	3,535
退職給付引当金	1,920	1,940
資産除去債務	761	769
その他	2,046	2,363
固定負債合計	8,934	8,609
負債合計	28,515	31,435
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,285	7,285
資本剰余金	7,379	7,379
利益剰余金	18,971	20,302
自己株式	△16	△16
株主資本合計	33,620	34,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15	20
繰延ヘッジ損益	32	4
為替換算調整勘定	△147	△134
その他の包括利益累計額合計	△99	△109
純資産合計	33,521	34,842
負債純資産合計	62,036	66,277



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	80,470	89,579
売上原価	67,658	75,589
売上総利益	12,812	13,989
販売費及び一般管理費	10,068	11,046
営業利益	2,743	2,943
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	192	215
受取賃貸料	108	83
その他	121	86
営業外収益合計	429	392
営業外費用		
支払利息	91	67
固定資産除却損	124	49
賃貸収入原価	64	49
その他	43	42
営業外費用合計	324	208
経常利益	2,848	3,127
特別利益		
貸倒引当金戻入額	22	—
特別利益合計	22	—
特別損失		
固定資産売却損	—	97
倉庫閉鎖損失	—	253
災害による損失	238	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	430	—
その他	132	—
特別損失合計	801	351
税金等調整前四半期純利益	2,069	2,775
法人税、住民税及び事業税	1,192	1,176
法人税等調整額	△226	△63
法人税等合計	966	1,112
少数株主損益調整前四半期純利益	1,103	1,663
少数株主利益	1	—
四半期純利益	1,101	1,663

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,103	1,663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	5
繰延ヘッジ損益	△10	△28
為替換算調整勘定	△0	12
その他の包括利益合計	△26	△9
四半期包括利益	1,077	1,653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,075	1,653
少数株主に係る四半期包括利益	1	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,069	2,775
減価償却費	1,829	1,799
のれん償却額	85	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	49	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	22	102
受取利息及び受取配当金	△199	△222
支払利息	91	67
固定資産除却損	124	49
倉庫閉鎖損失	—	253
災害損失	238	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	430	—
固定資産売却損益(△は益)	3	97
売上債権の増減額(△は増加)	△3,214	△3,322
たな卸資産の増減額(△は増加)	△502	821
仕入債務の増減額(△は減少)	1,626	1,851
未払金の増減額(△は減少)	△18	826
その他	132	597
小計	2,769	5,703
利息及び配当金の受取額	199	222
利息の支払額	△91	△68
災害損失の支払額	△101	—
法人税等の支払額	△87	△1,458
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,688	4,398
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△923	△569
有形固定資産の売却による収入	71	14
無形固定資産の取得による支出	△31	△22
関係会社株式の取得による支出	△63	—
関係会社出資金の払込による支出	△162	△255
その他	154	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△954	△848
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,900	—
長期借入金の返済による支出	△831	△805
配当金の支払額	△331	△331
その他	△170	△288
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,233	△1,425
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,503	2,128
現金及び現金同等物の期首残高	5,468	1,619
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,965	3,748

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	61,425	10,928	5,425	77,779	2,691	80,470	—	80,470
セグメント間の 内部売上高または振替高	0	666	1,049	1,715	5,823	7,539	△7,539	—
計	61,425	11,594	6,475	79,494	8,515	88,010	△7,539	80,470
セグメント利益	2,377	123	46	2,547	228	2,776	△32	2,743

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備の販売、人材派遣、業務請負を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△32百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	68,806	11,699	5,907	86,414	3,165	89,579	—	89,579
セグメント間の 内部売上高または振替高	0	716	1,263	1,980	5,829	7,809	△7,809	—
計	68,806	12,416	7,170	88,394	8,994	97,388	△7,809	89,579
セグメント利益	2,377	177	144	2,699	236	2,935	7	2,943

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備の販売、人材派遣、業務請負を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額7百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「物流関連事業」において、閉鎖予定の倉庫について倉庫閉鎖損失253百万円(減損損失203百万円、撤去費用50百万円)を特別損失に計上しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。